

第3次総合計画第4期基本計画第7回総合計画審議会議事録

日 時：平成28年1月27日（水） 14:30～16:30

場 所：東金市役所3階第1委員会室

出席者：委員（別添参照）…18名

総務部長、市民福祉部長、建設経済部長、教育部長、会計管理者、教育部技監、総務課長、財政課長、特命プロジェクト担当主幹、特命プロジェクト担当主査補、企画政策部長、企画課長、企画課副課長、企画係長、企画課副主査、企画課主事補

1 開会

（司会 企画課長）

2 会長あいさつ

[会長] 本日は、第7回目の審議会である。今年度末の3月に第8回審議会の開催を予定している。そのため、実質今回が最後の審議となる。第4期基本計画の最終案を取りまとめること、また、2月8日（月）に予定されている答申の案に対する審議をいただきたい。第7回審議会後にも意見提案は受け付け、計画案や答申案をまとめていきたい。

3 議題

[企画課長] 議題の進行については、東金市総合計画審議会条例第5条第1項の規定により会長に議長をお願いしたい。

（会長…了解）

[会長] 今回の審議会では、2つの議題が提案されている。1つ目が、「第4期基本計画（案）について」。2つ目が「諮問に対する答申（案）について」である。

前回の第6回審議会では、第4期基本計画の素案を総論と各論に分けてご審議いただいた。前回の審議会を踏まえ、事務局により修正を行った。その修正案について、及び、パブリックコメントの取り扱い等について意見を賜りたい。

また、後半の答申に対する議題では、事務局が作成した案をもとにご審議いただきたい。今後のスケジュールとしては、2月中旬に答申の提出、その後、3月には委員の皆様へ第4期基本計画の最終案をお示しする予定である。実質今回が最後の審議となるので、十分にご意見をいただきたい。

○（1）第4期基本計画（案）について

[会長] 第4期基本計画（案）について事務局より説明を求める。

（企画課副課長…前回からの修正点と、第4期基本計画完成に向けての今後の調整の方向性を中心に説明。本日本配布した第4期基本計画（案）は、Ver6.0で、現時点で最新のものである。

第6回審議会において、総論と各論についてご審議いただいた。第4期基本計画の構成や各施策の整理の仕方等、全体的な承認はいただいた。

その一方で、今後5年間の事業については様々なご意見をいただいている。第4期基本計画は、3

月末までの策定を目指している。それまでの間、審議会委員の皆様から提案された意見やパブリックコメント、各課との調整の結果等を計画に随時反映していく。

前回からの修正点は、誤字脱字等の変更を除けば多くない。資料1-2に基づいて説明を進める。第1章施策4「地域に根ざした文化の振興」では、今後の展開の一部を変更した。第2章施策6「市民の健康を支える保健・医療の充実」では、5項目について加筆を行った。第2章施策7「地域で支えあう思いやりのある社会福祉の推進」では、審議会でのご意見を受け、担当課と調整し、障害者差別解消法に関する記載を新たに追加した。このように、全体で8施策13項目について修正を行った。詳細をご確認いただき、再度修正が必要な場合には、意見提案書等による提出をお願いしたい。

第4期基本計画（案）のp33に記載のある財政フレームについては、前回からの変更はない。今後、新年度の当初予算編成事務が進んでいく中で、必要に応じて修正していく。

パブリックコメントについては、事前配布資料1-3、及び当日配布資料1-3②をもとに説明を進める。パブリックコメントは、平成27年12月25日から平成28年1月25日まで実施した。前週末までに提出された意見を資料1-3として事前配布し、それ以降に提出された意見を1-3②として当日配布した。施策分野別に分類し、33件の意見としてまとめた。資料1-4及び1-4②は、提出された意見の原本のコピーである。個人が特定できないようにはしているが、内容によっては個人を特定できるものもあるので、慎重な取り扱いをお願いしたい。33件の意見は、提案者から該当範囲の指定があった場合にはそれを該当範囲とし、指定がない場合には、当局にて割り振った。すでに計画（案）の中に記載のある事業や、要望に近い意見もある。しかし、産業振興・観光分野、東金駅西口等の市街地活性化、広域連携等の分野の提案内容については、現在の第4期基本計画（案）に具体的記載がないものや、方向性を明確に示せていない事業がある。

また、提出された意見は、地方創生の総合戦略において、中・長期で検討する事業として位置づけた項目がほとんどであった。基本計画（案）の各論部分には記載が無いが、総論のp17～p20にかけての地方創生に関する項目において記載がある。また、各論第6章施策31「地方創生の実現に向けて」において、総合戦略の実施を記載している。そのため、地方創生関連の事業はカバーできていると考えていたが、この度のパブリックコメントを受け、記載の足りない部分は加筆することとしたい。例えば、施策22「良好な市街地の形成」の今後の展開の中に、「東金駅西口の活性化の検討」といった項目や公共的施設の再整備の検討といった修正を加えたいと考えている。この後の議題となっている答申としていただくご意見や、各部署との調整の結果と併せて、順次計画（案）の修正を行っていく。

第4期基本計画策定までの今後のスケジュールとしては、2月8日に会長から市長への答申をいただき、その後、答申とパブリックコメント等の意見を反映した第4期基本計画（案）Ver7.0を作成し、2月下旬頃までを目処に委員の皆様へ送付させていただきたいと考えている。Ver7.0に対する意見は、期限を設け、企画課に直接提案していただくことになる。委員の皆様方の承認をいただいた後、これを最終案とし、3月議会の議員全員協議会への説明と報告を終え、3月末までの策定を予定している。）

（意見・質問）

[委員] 第4期基本計画（案）p114から、施策31「地方創生の実現に向けて」とある。そこで重要となるのは、人口をいかにして増やすかだと考えている。課長目標として、「年間転入者数」を挙げているが、現状値が3,210人で目標値が3,300人となっている。これを実現することによって、どのような効果を生むのか。どの年代、こういった職業等、狙う層が明確になっているのかどうか、説明していただきたい。

[企画課副課長] 年間転入者数3,210人という現状値を最終的に3,300人まで増加させるという目標だが、各層ごとの積み上げデータはない。しかし、目標を実現させるための施策として、若者世代が住宅を購入する際の費用を補助する「住宅取得費用補助事業」の来年度実施を検討している。このように、若年層の取り込みを目的としており、転入者のみではなく、市内に既に住んでいる方も対象に含めると考えている。転入者を増やすだけでなく、転出者を減らすことも狙いである。城西国際大学との連携のもと、若い方々が地元で就職できるような施策も考えて行きたい。

[委員] 目標が90人増なのであれば、的を絞って示した方が良いと考える。これは計画全体に言えることだが、裏づけのある数字のまとめ方をしていただきたい。

[委員] p33に歳入と歳出についての表があるが、数字の単位を入れていただきたい。

[企画課副課長] 事務局の記載漏れである。単位は百万円である。修正したい。

[委員] p59で、子育て支援についての記載がある。昨日の読売新聞に、厚生労働省が病児保育施設の設置を後押しするという記事があった。現在、東金市には、病後児保育の施設が1件あるものの、病児保育の施設はない。このことに取り組んでいただくと、子育て世代のお母さんの安心に繋がると考える。

[会長] 厚生労働省の新しい制度を活用して取り組んでいただきたいというご意見だが、事務局から答弁があればお願いしたい。

[企画課副課長] 先ほど、委員から新聞記事を提供していただいた。まだ原課との調整が済んでいないが、何かしらの形で計画(案)に反映するか、答申(案)に組み込むという対応を検討したい。

[委員] 東金市内の新極楽寺で、建設残土が処理されるという話を前審議会でさせていただいた。東金市は条例を作っているようだが、抜け道もある。熱処理をした残土なら許可されているので、新極楽寺が残土の処理地になってしまう恐れがある。そのことについても考えていただきたい。新極楽寺は市内でもっとも自然豊かな地区なので、力になっていただきたい。

[会長] 前回にも提案された意見なので、事務局から何か答弁があればお願いしたい。

[企画係長] 審議会としての答申の中に入れていたいと考えており、本日お示しする案の中にも組み込まれている。

[委員] 具体的事例として記載していただきたい。

[企画係長] 表現等、原課とも調整しながら、より実効性のあるものになるようにして行きたい。

[会長] p113に事業番号31-1「地方創生関連事業」がある。これまでの取組みが縦割りだとすると、ここに記載されていることは横軸の話である。地方創生関連事業は、全ての事業で取り組むべきものである。総合戦略の内容は、第4期基本計画や第4次総合計画にも組み込まれてくるものだと思うので、それに向けて、地方創生に繋がる事業は積極的に行っていただきたい。各課が提案した事業も、地方創生に関するものは特出しするなどの工夫をしていただきたい。

p45に、幼稚園及び小学校トイレの洋式化についての記載がある。和式トイレを洋式化することが子育て世帯の呼び込みに繋がるとは考え辛い。もっと計画的に、魅力を高めるものをお願いしたい。

同様にp59の子育て支援では、支援策や認定こども園等、魅力を高め、子育て世帯の定住を促進する施策も打ち出せると考える。そういう点を考えていただきたい。

[委員] p34で、セントラルパークについての記載がある。セントラルパーク構想についての資料を読んだが、70%くらい商工会議所の考えと重複している。このセントラルパーク構想は、現在どのような位置付けになっているのか。

[企画課副課長] 第4期基本計画の中では、セントラルパーク構想の推進を予定していない。p34のセントラルパークという言葉は、構想ではなく場所を示している。第4期基本計画では、セントラ

ルパーク構想を引き継ぐ形で、八鶴湖周辺の整備等が謳われている。セントラルパークという用語が分かり辛い場合もあるので、第4期基本計画完成版では用語説明で解説を加える。

[委員] 昨年、1,000人規模のイベントをみのりの郷で実施したが、今年は「道の駅になったため受け入れできない。」と断ったそうである。市民が大規模なイベントを企画したときに、受け入れ可能な施設がないということが分かった。結果、そのイベントは山武市で開催されることとなってしまった。施設の整備をするべきではないか。先ほど他の委員からセントラルパークの話があったが、それについても駐車場がないために実現できていない。市民が活躍できるインフラをしっかりと計画の中に入れていただきたい。

[委員] よく出来ていると思う。優先順位があると尚良いと思う。

[委員] 第4期基本計画(案)についてのこの場での意見は一旦しめさせていただきます。3月24日の第8回審議会で最終案が示される予定である。

○(2) 諮問に対する答申(案)について

[会長] 議題(2)諮問に対する答申(案)について、事務局からの説明を求める。

(企画係長…7月6日付けで、本審議会に対し、地方創生と併せて第4期基本計画策定に向けての諮問が市長より行われている。これを受け、2月中に答申を提出していただく予定だが、諮問に対する答申(案)を本日までご審議いただきたい。

答申案については、資料2-1を参照されたい。これは、第4期基本計画の審議が始まった第4回審議会から前回の第6回審議会までで頂いたご意見をまとめて作成した。資料2-4は、第4回審議会から第6回審議会までの議事録であり、答申に反映した部分を網掛けしている。この網掛け部分をどのようにまとめたのかを一覧にしたものが資料2-3である。資料2-3の左部分が提案された意見内容、右部分が答申(案)への反映の仕方である。24項目に分類した上で39の答申(案)を挙げている。類似した要望や意見は集約し、1つの答申としている。

本日お示ししている答申(案)は、事務局が作成した叩き台である。本日までご審議いただきたい点は、審議会としての答申を、どのような形でどのように示すのかである。資料で示した答申(案)に加えた方が良いと思われるもの、修正した方が良いと思われるもの等を、それぞれの立場から指摘していただきたい。)

(意見・質問)

[委員] 2020年までに75,000人の人口を目指すということだが、転入してくる方たちの雇用の場はどう考えているのか。そこが見えてこない。計画(案)を見ると、産業や工業に関する記述が少ないように感じる。東金で働いて東金に住むことができるようなものにしていただきたい。

[会長] 計画(案)のp22にも記載があるが、2020年時点の目標人口は59,700人である。75,000人という目標は、第3次総合計画策定時のものであり、経過を踏まえて変更している。

[企画課副課長] 総合戦略策定の際、当市の状況を踏まえ、5年後、現在の人口よりも若干減少するという推計を行った。減少を抑えることを目標とし、単純な推計よりも上向きの59,700人を目標としたところである。

その目標達成のためには、工業や商業等の雇用の場の創出が重要である。そのことは、総合戦略策定の中でも委員の皆様にご議論していただいた。今の段階では、第4期基本計画(案)の施策15「豊かなまちをつくる工業の振興」において、企業誘致に努めることや遊休地への企業立地の可能性を検討

するといったことしか記載がない。しかし、総合戦略の中・長期で検討する事業として「新たな工業団地の検討」があるので、第4期基本計画の今後の展開として記載を考えている。

[会長] それでは、委員一人ひとりからご意見をいただきたい。

[委員] 5ヵ年という短い期間であるため、より具体性のある意見がベースとなって答申がまとまれば良いと思う。しかし、現在の答申(案)を見ると、意見と答申の関連性が見えてこない。また、それによりどのような効果が生まれるのかが見えない。もう少し目指すところを明確にしていきたい。例えば、農業の分野において、新規就農を増やすという政策が見えてこない。どのように人口を増やしていくのかが見えてこない。答申のサマリーとしては良いと思うが、具体性を出していただきたい。

[委員] 事業の項目数が大変多いため、優先順位をつけていただきたいと繰り返し提案してきた。優先順位が高いものをはじめにもってくる等の工夫ができれば良いと思う。現在は、項目順にただ並んでいるように見える。

[会長] 既に事業番号をふってあるため、ここにきて順番を変えるのは難しいのではないか。重要な事業には星をつけるなど、重要度を示す工夫をし、分かりやすいようにしていただきたい。

[委員] 資料2-1の答申(案)の通りで良いと思う。

[委員] 資料2-3の⑤-1に、情報教育についての記載がある。これからの時代、情報教育は大変重要であると思うが、ここでは中学校のことしか記載がない。義務教育なので、中学校のみではなく小学校にもタブレット教育を実現していただきたい。

[委員] 第4期基本計画(案)のp83で観光についての記載があるが、この施策を進めるにあたっては、関係団体との刷り合わせをしっかりと行っていただきたい。桜の剪定をやってもらっているが、「剪定でなく伐採だ」という厳しい意見をいただいている。手入れをしていただいているが、そういった事案もあるため、よく刷り合わせしていただきたい。また、八鶴湖周辺に関しては多くの要望があったと思う。出来ること出来ないことあると思うが、公平な意見として受け止めていただきたい。

[委員] 桜の手入れは植木組合がやっているのか。

[委員] 市にお願いしている。

[委員] 高齢者は増加するが、施設はあまり増えていない。答申(案)は良くできていると思うが、これが現場でどう効果を生むのかが問題である。実現できるよう、きめ細かい施策を実施していただきたい。東千葉メディカルセンターでは、患者数が減り、医師も千葉大に帰ってしまうという噂がある。そのことについて何かあれば教えていただきたい。

[企画課長] 医療担当参事が欠席のため、代わりに答弁させていただく。私の知る範囲では、一度確保した看護師・医師が減っているということはない。また、外来患者数も少しずつ増加している。

[会長] 25日の議会では産科ができるという話だったと思う。

[企画課長] まだ確定ではないが、26日(火)の新聞に、出産に対応できる産婦人科開設の目処がたってきたという記事が載った。

[委員] 地域が高齢化してきている。計画(案)の第2章でも謳っているが、これからの自治会は、健康と福祉に重点的に取り組んで行くつもりである。その点を細かく実施していただきたい。

[委員] 第4期基本計画(案)のp97に、『平成26年度に「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」が施行されたことから、消防団員の装備の拡充と時代にあった事業の見直しを行い、今後も消防団員の確保に努めます。』とある。地域の安心安全に尽力する。

[委員] 東千葉メディカルセンターは、医療や健康面で重要になるので力を入れていただきたい。また、みのりの郷東金の施設活用についてもお願いしたい。

[会長] 東千葉メディカルセンターに行ったが、担当科に案内されるまで20分近くかかった。初診

の場合は受付で長い間待ち、担当課への案内を事務職員がしている。病状を事務職員に話し、担当科へ案内している現状はどうかと思う。

[企画課長] こちらも議会で話があったが、4月から「どの科に案内するか」を判断する総合診療内科が開設される予定である。

[会長] 答申に総合診療内科について書き加えることは可能か。

[企画課長] 産婦人科はまだ未定なので何とも言えない。

[会長] 「東千葉メディカルセンターについて」という大きな枠で記載していただきたい。

[企画課長] 何らかの形にして反映する。

[委員] 議会では東千葉メディカルセンターの状況が改善されてきているとしていた。それも分かるが、身近では診療を断れたという事案も聞いた。このように、印象の悪さは拭えていないと感じる。議会の答弁も「善処します」というもので、具体的にどうなるのかが見えず、頑張っているということしか伝わってこない。基本計画や東千葉メディカルセンターの施策等、市民に伝わるように示していただきたい。

また、子ども会でイベントを打ちたいが、様々なしがらみから実現し辛いという状況がある。市や高齢者の方にお手伝いいただきながら、子どもたちが楽しめるような体制を整えていただきたい。

[委員] 第4期基本計画のp48で、青少年健全育成に関する事業がある。この事業は各小中学校に協力していただいているものである。施策3「次代を担う青少年の健全育成」の今後の展開では、「各種団体と連携しながら」という文言があるが、これに小学校・中学校等の学校との連携についても加えていただきたい。各団体の横の繋がりももちろん大事だが、学校の教員とコミュニケーションを取れる体制を整えていただきたい。

[委員] 30歳の成人式事業は第4期基本計画（案）のどの部分に記載があるのか。

[企画課副課長] 第4期基本計画（案）の各論部分には記載がない。先ほど説明した通り、総合戦略の短期実施事業や中・長期で検討する事業は、施策31「地方創生の実現に向けて」において包括して示している。しかし、ご指摘いただいた通り、表に出すべき事業は記載してきたいと考えているので、意見を反映する。

[委員] 第4期基本計画（案）のp79に黒豆みそ鍋についての記載がある。しかし、現状では、黒豆みそを仕込んでいる所がどこにもない。PRだけが先行して、モノがないという現状を聞く。その点を確認していただきたい。

また、遊休農地や耕作放棄地が多く見受けられる。しかし、その土地を借りられないということも多々ある。そういった点の再検討と新規就農者の受け入れについて、もう少し具体的に書き込んでいただきたい。

みのりの郷東金が黒字になってきており、大変素晴らしいことだと思う。しかし、みのりの郷に関する記述ばかりでその他の農業等の記述が少ない。

[建設経済部長] 東金の黒大豆に関しては、転作の推進ということで、東中島の区画整理を行った団体で、オーナー制をひいて始まった。しかし、高齢化に伴い、組織として作ることは止めている。現在は、農家の方数名に声をかけ作っていただいている。このような体制になったのは、黒豆みそ鍋が開発・商品化されたのと同じ年である。現在、鍋に使うみその確保は可能な状態にある。しかし、従前は鍋を作っている飲食店が6店舗であったが、それが10店舗近くに広がる動きがある。1月30日、31日に埼玉県和光市の全国鍋グランプリに出場する予定である。東金の新たな地元の産物を使った食が発信できる状態になっている。そのような動きがあるため、少しでもみそを作ってください農家の方の枠を広げていきたいと考えている。

[委員] できるだけ東金産にこだわっていただきたい。

[建設経済部長] 承知した。

[会長] 農業関係では、以前 TPP 等、時事的なことについても取り上げるようにという意見があった。答申の中でも、そういった国際情勢を踏まえていただきたい。

[委員] 先ほど他の委員から ICT 教育についての意見があったが、ICT 教育を行う際には、是非ネット犯罪から身を守る方法を教育していただきたい。

[委員] 高齢者や子ども、精神疾患の方の消費者相談が増えてきている。中には、担当ではいかんともし難い事案も出てくる。第4期基本計画(案)の施策28「効果的で効率的な行政運営の推進」になるかと思うが、庁内で横断的に意見交換や連携を図ることができたら良いと思う。例えば、大学生がネット上の商売に手を出して、学生が支払いきれないという事案がある。高校生や小・中学生についても、スマートフォンなどに触れる機会が多いので、似たような事案が生じる可能性がある。そういった事案に対して、先生方と連携を取れば良いと考えている。

[会長] 国民生活センターで「くらしの豆知識」という冊子を発行している。生活上の契約トラブル等について書いてある。各担当課の課長は一読し、自分の課に関係するようなことは把握しておくと思う。基礎知識を持っていただきたい。

[建設経済部長] ご指摘の件について、産業振興課を中心に、まずは市内部の連携強化から進めていきたいと考える。

[委員] 答申(案)について特段の意見はない。引き続き、地域金融機関として、産業雇用という分野でお手伝いさせていただきたい。千葉銀行では、6次産業化への支援を行っている。また、ちばぎん総研との共催で、地方創生の実現に向けた移住セミナーを開催している。人口を増やすためには移住者の増加も必要だと考えるので、ご相談いただければと思う。

[委員] 区の加入率という問題がある。前回の審議会でも意見が出たが、ボランティアの高齢化も問題となっている。しかし、これからは、区とボランティアが協力しなければならない社会環境になってくると考えられる。そうした状況の中、第4期基本計画(案)の内容で本当に大丈夫なのか。分譲住宅に住んでいる方の自治会加入率と、賃貸住宅に住んでいる方の自治会加入率には明らかな相違があると思う。賃貸の方の加入率は非常に低い。それ故、賃貸の比率が高いほど加入率が下がる。このような点は、「交流と連携のまちづくり」や「市民参画による行政の展開」において重要な部分になってくると思う。分譲住宅と賃貸住宅を分けて目標設定しなければならないと思うがいかがか。

[委員] 日吉台地区は少し低下したものの、90%以上の加入率である。他の地区を見ると、一番低いところでは10数%である。このような状況にあるため、地域の活性化は非常に難しい問題である。各家庭で世代がかわった際、新しい世代の方に加入してもらえないことが問題である。地域においても、自治会加入率を増やそうという動きがある。空き家住宅に入った4、5軒に加入を求める通知を出しているが、一軒も返答がない。昔と違い、今の自治会には強制力がないため難しい。自治会への加入率を上げることが昨年からのテーマになっている。日吉台にもボランティアチームがあったが、脱退者が出たため、チームが無くなってしまった。新しく作るため一生懸命動いているが、なかなか難しい。議員さんも含め、ご意見いただきたい。

[委員] ボランティアは高齢化してきている。地域の行事の際など、1日だけのボランティアならば若い方にも集まっていただけ。しかし、自分の仕事もあるため、その後のボランティアへの加入はなかなかしてもらえない。定年を過ぎた方は2、3人加入してくださったが、60歳未満の方には参加してもらえない。60歳以上80歳未満といった方々にお手伝いいただいているのが現状である。60歳以上の男性の方は地域の活動にもあまり出てきていない。そういう方々をどう取り込めるかを

考えている。

[委員] 昨年、訪ねていってもなかなか出てきてくれない家に区の役員が出向き、敷地内に入ってドアをロックしたら警察を呼ばれるという事件があった。

[会長] 市の対応等あればご説明いただきたい。

[総務部長] 総務部では、東金市の区長会という自治会のお手伝いをしている。今までご意見いただいたように、自治会やボランティア、転入者、賃貸に住む方等、コミュニティをいかに取れるかだと考える。自治会の加入率を上げるのならば、極端な話、区を増やせば上がる。区の中には、区長会に所属していないコミュニティもあると考えている。そういったコミュニティを区として認めれば加入率は上がる。ただ、既存のコミュニティを崩すことにもなるので、価値判断としてどう割り切るかは議論する必要がある。コミュニティをどうするかという価値判断が市民全体で必要であると考えている。そういった議論ができるように検討を重ねている。

[会長] 当審議会で議論を尽くせるような話題ではない。コミュニティの在り方は、移住定住やボランティア、市民協働にも関わってくるものなので、次期5ヵ年の間に研究会を開くなどして、市と市民の方々と市のコミュニティの在り方について議論していただくと良いと思う。このことを審議会として答申に加えていただきたい。コミュニティの在り方について今後とも検討していただきたい。

田間では、市から補助金が出て、新事業としてマラソン大会を行った。田間の住人は役員として活動するため、大会には出られない。また、新事業が始まり仕事が増えたため、住人が担い手になりたがらないという事案がある。適正な規模、適正な人員、適正な範囲で企画をし、良いイベントになるようにしていただきたい。

[委員] みのりの郷東金は情報発信の施設でもあるとのことだが、店内には東金市の観光案内マップや商工案内掲示板のようなものが見当たらなかった。その辺りのことはどうなっているのか。

[建設経済部長] 観光情報誌は店内に置いてある。補充がうまくいかなかった可能性がある。

[委員] 大きなパネルのようなものは無いのか。

[建設経済部長] パネルについては設置していない。東金の様々な風景をスクリーンで流すというような情報発信の方法をとっている。しかし、今ご意見いただいたので、設置の検討も考えてみたい。

○(3) その他

[企画課長] 個人番号(マイナンバー)の取得及び今後のスケジュールについて説明させていただく。

◆個人番号(マイナンバー)の取得について

[企画係主事補] 本審議会について、報酬を支払わせてもらっている。いわゆる「マイナンバー法」が施行されたことに伴い、当該報酬について、平成28年分の源泉徴収票作成事務について、委員皆様の個人番号が必要となる。お配りした「東金市職員等の個人番号(マイナンバー)の取得について(依頼)」の文書により、次回第8回の審議会時のご提出についてご協力をお願いしたい。なお、お配りした依頼文左上に「参考」と書かせていただいている方は、市議会議員や教育委員等、他の部署でも報酬支払対象となっている方などであり、当該部署から別途連絡が行くと思われるので、ご了承願いたい。提出していただきたい内容は、「個人番号届出書(変更届出書)」と「個人番号通知カードまたは個人番号カードのコピー」を提出していただきたい。次回第8回の審議会時のご提出についてご協力をお願いしたいが、欠席等ある場合には、返信用封筒にて事務局まで郵送願いたい。なお、郵送の場合は、上記の提出書類に加え、「身元確認に関する書類のコピー(免許証等)」についても提出願いたい。

◆スケジュールについて

[企画課長] 本日いただいた意見をもとに修正し、会長との協議の後、答申を提出する。答申は、2月8日(月)の午前10時、市長応接室にて提出を行う。また、答申書については、別途委員の皆様へ郵送させていただく。第4期基本計画に対する意見提案書については、2月8日(月)を締め切りとさせていただきたい。

◆課長あいさつ

[企画課長] 皆様には昨年7月より地方創生の人口ビジョン、総合戦略に関する事、さらには第4期基本計画の策定に関する事と、長期間にわたってご審議をいただいた。人口ビジョン及び総合戦略に関しては、東金市としての独自性を出した地方創生の進め方や短期的及び中長期的な事業展開などのご意見を賜り、結果として県内では最も早い策定を成し遂げることが出来た。

続けてご審議をいただいた第4期基本計画では、地方創生を踏まえ、今後5年間の本市の方向性、実施していくべき事業など、今後の市政を運営していくことに関し、不可欠なことについてご意見をいただいていた。

地方創生に関しては、その進捗状況を今後も継続して皆様に報告していく必要があることから、3月下旬には審議会を開催し、平成27年度の取組や結果などを提示する予定だが、基本計画の審議に関しては、今回を以て「一同を会しての審議会」の締めとなる。

計画づくりに際しては、至らぬところも多く、事務局としてご迷惑をおかけしたが、皆様にご指導、ご助言をいただき、なんとか形に出来てきたことに関し、改めて感謝申し上げます。

最後に、今後も、地方創生及び基本計画はもとより市政につきまして御指導、御鞭撻をいただくことをお願いし、会議終了に際してのお礼とさせていただきたい。ありがとうございました。

議事の終了

4 閉会

以上